

事業所名

子ども支援センターワーク

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2024

年

12

月

10

日

法人（事業所）理念		当事者の立場で子ども達が社会生活（学校等）を安心して過ごすために支援します。										
支援方針		社会（学校等）の中で自分らしく生活できるように、一人でできることを増やし、自信をもって生活する力を育みます。										
営業時間		10	時	0	分から	19	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	・子どもに応じた、日々の約束事（個別・集団療育ができたかどうかなど）を決め、確認を行います。活動により、生活面に関する内容に興味を持ってもらいます。										
	運動・感覚	・集団生活で様々な活動を興味を持って取り組めるようにしていきます。遊びを通じて目や指先の運動を行ったり、集団活動でできるように行ったりすることで体の使い方を学びます。										
	認知・行動	・子ども自身が目標設定・振返りを行うことで、時間やルールを意識させ、達成できたことを褒めて、自己肯定感を育みます。主に個別の支援により、数量の概念や計算能力を習得できるよう支援します。										
	言語 コミュニケーション	・生活の中での語らいを増やし、相手の気持ちや行動を理解し、自分の考え・思いを伝えることができるよう、工夫した教材や他の人と係わる楽しさを通し、ルールや感情のコントロールを身に付けます。										
	人間関係 社会性	・個別に、日常生活での困りごと・人間関係のトラブルの振返りや、ソーシャルスキルトレーニングを行います。 ・集団活動全般を通じて、周囲への適切な声掛けや気持ちのコントロールの仕方を学んでもらいます。										
家族支援		・保護者面談や随時に、来所時での様子や活動についての情報を共有する機会を持ち、連続性のある総合的な支援を行います。					移行支援		・具体的な意向を想定した子どもの発達の評価を行い、保護者の意向確認や状況共有を行います。 ・他関連機関との連携をはかり、支援体制を構築します。			
地域支援・地域連携		・学校、福祉サービス等と連絡を取ったり連携会議等を行って情報共有しています。					職員の質の向上		・年3回社内研修を計画的に行い、共通認識のもと資質の向上を図ります。 必要に応じて随時も行います。			
主な行事等		・季節感・指導内容を考えて、計画的に行います。										